

履修基準（授業科目，修了要件，履修方法）

別表第1

博士課程前期
教育科学専攻 日本語教育学プログラム

科目区分	授 業 科 目	配当年次	開設 単位数	履修区分	要取得 単位数	
大学院共通科目	持続可能な発展科目	Hiroshimaから世界平和を考える	1・2	1	選択必修	1
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2	1		
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	1・2	1		
		SDGsへの学問的アプローチA	1・2	1		
		SDGsへの学問的アプローチB	1・2	1		
		SDGsへの実践的アプローチ	1・2	2		
		ダイバーシティの理解	1・2	1		
	データリテラシー開発・キャリア開発科目	データリテラシー	1・2	1	選択必修	1
		医療情報リテラシー	1・2	1		
		人文社会系キャリアマネジメント	1・2	2		
		理工系キャリアマネジメント	1・2	2		
		ストレスマネジメント	1・2	2		
		情報セキュリティ	1・2	2		
		MOT入門	1・2	1		
アントレプレナーシップ概論	1・2	1				
研究科共通科目	人間社会科学特別講義	1	2	必修	2	
	人間社会科学のための科学史	1・2	2	選択必修	2	
	異分野協働プロジェクト	1・2	2			
	未来創造思考（基礎）	1・2	1			
	ルール形成のための国際標準化	1・2	1			
	理工系のための経営組織論	1・2	1			
	平和教育の構築への実践的アプローチ	1	2			
	データビジュアライゼーションA	1・2	1			
	データビジュアライゼーションB	1・2	1			
	環境原論A	1・2	1			
	環境原論B	1・2	1			
専攻共通科目	教育科学のための研究法と倫理	1・2	2	選択必修	2	
	教育科学と社会	1・2	2			
	Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible	1・2	2			
	Religious culture in public education	1・2	2			
	Academic Writing for Graduate Students in Education	1・2	2			
	日本の教育開発経験	1・2	2			
プログラム専攻	日本語教育研究方法論	1・2	2	必修	①	4
	日本語教育学研究プロジェクト	1・2	2			
	日本語習得論特講	1・2	2	選択必修	②	2
	言語教育心理学特講	1・2	2			
	日本語教育評価法特講	1・2	2			
	年少者日本語教育特講	1・2	2			
	日本語構造論特講	1・2	2			
	日本語表現法特講	1・2	2			
	対照言語学特講	1・2	2			
	社会言語学特講	1・2	2			
	異文化間教育学特講	1・2	2			
	文化社会学特講	1・2	2			
	日本語習得論演習	1・2	2	選択必修	③	2
	言語教育心理学演習	1・2	2			
	日本語教育評価法演習	1・2	2			
	年少者日本語教育演習	1・2	2			
	日本語構造論演習	1・2	2			
	日本語表現法演習	1・2	2			
	対照言語学演習	1・2	2			
	社会言語学演習	1・2	2			

12

目	異文化間教育学演習	1・2	2	自由選択	
	文化社会学演習	1・2	2		
	日本近代文学演習	1・2	2		
	国内日本語教育実践研究	1・2	2		
	海外日本語教育実践研究	1・2	2		
	特別研究	1～2	4	必修	4
他プログラム専門科目				選択	2
日本語教育学プログラム専門科目または他プログラム専門科目				選択	4
合 計					30

※配当年次の記載内容は、次のとおり。

1：1年次に履修， 2：2年次に履修， 1～2：1年次から2年次で履修， 1・2：履修年次を問わない

1. 修了要件

修了に必要な単位数を30単位以上とし，2の履修方法のとおり単位を修得し，かつ必要な研究指導を受けた上で，修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。

2. 履修方法

- (1) 大学院共通科目：持続可能な発展科目から1単位以上，キャリア開発・データリテラシー科目から1単位以上
- (2) 研究科共通科目：「人間社会科学特別講義」2単位を含め4単位以上
- (3) 専攻共通科目：2単位以上
- (4) プログラム専門科目：日本語教育学プログラム専門科目から12単位以上及び「特別研究」4単位

日本語教育学プログラム専門科目は，指導教員と相談の上，以下の①～③の能力が身に付くように，各履修区分(①～③)から1科目以上履修すること。

- ① 急速に進むグローバル化の下，国内外において，増加の一途をたどる日本語学習者(児童から成人まで)に対応し得る，高度な知識・技能を有している。
- ② グローバル・マインドを持った日本語教育の研究者・教育者となるために，「言語」「教育」「心理」「文化」「社会」にわたる日本語教育学を構成する幅広い領域において，理論・実践の質的向上に資する高度な教育研究能力(思考力・判断力・表現力)を有している。
- ③ 日本語学習者と日本語母語話者が共修する中で，日本語や日本文化についての理解を深めるという新たな「学び」を構築・支援できる能力(主体性・協働性)を有している。

- (5) 他プログラム専門科目：2単位以上

なお，指導教員の許可を得て他研究科専門科目を履修し，単位を修得した場合は，「他プログラム専門科目」に含むことができる。

- (6) 日本語教育学プログラム専門科目または他プログラム専門科目：4単位以上